

〔工事種類別完成工事高・工事種類別元請完成工事高の記入方法〕

□ □ □ □(以下「カラム」という。)で表示された枠内
1カラムに1文字ずつ、数字は右詰めで記入してください。例えば、 □□□□□のように記入してください。

項番 **3** **1**「計算基準の区分」の欄 工事種類別完成工事高と工事種類別元請完成工事高は、2年平均と3年平均を選択できます。「2年平均」の場合は「1」を、「3年平均」の場合は「2」を記入してください。

「審査対象事業年度」の欄 決算期変更等により審査対象事業年度が12か月未満の場合でも、この欄の完成工事高は、前審査対象事業年度の完成工事高を加えて合計12か月分になるように記入してください。

具体的には、次の例により記入してください。

(1) 12か月ごとに決算を完結した場合

R6. 4. 1～R7. 3. 31の事業年度の申請 → 自06年04月～至07年03月

(2) 6か月ごとに決算を完結した場合

R6. 10. 1～R7. 3. 31の事業年度の申請 → 自06年04月～至07年03月

(3) 商業登記法に基づく組織変更の登記後最初の事業年度その他12か月未満で終了した事業年度について申請する場合

(ア) 合名会社から株式会社への組織変更に伴い、R6. 10. 1に当該組織変更の登記を行った場合で R7. 3. 31に終了した事業年度について申請するとき → 自06年04月～至07年03月

(イ) 審査対象事業年度の直前の事業年度がR7. 3. 31に終了した場合で事業年度の変更により R6. 12. 31に終了した事業年度について申請するとき → 自06年01月～至06年12月

(4) 事業を承継しない会社の設立後最初の事業年度について申請する場合

R6. 10. 1会社を新たに設立した場合で、R7. 3. 31に終了した事業年度について申請するとき → 自06年10月～至07年03月

(5) 事業を承継しない会社の設立後最初の事業年度の終了の日より前の日に申請する場合

R6. 10. 1に会社を新たに設立した場合で最初の事業年の終了の日(R7. 3. 31)より前の日(R6. 11. 1)に申請するとき → 自06年10月～至00年00月

「審査対象事業年度の前審査対象事業年度又は前審査対象事業年度及び前々審査対象事業年度」の欄 「審査対象事業年度」の欄に記入した期間の直前の審査対象事業年度の期間を上記の例により記入してください。ただし、3年平均を選択した場合には直前2年の各審査対象事業年度の期間を上記の例により記入し、下欄に直前2年の各審査対象事業年度の期間をそれぞれ記入してください。

項番 **3** **2**「業種コード」の欄 次のコード表により該当するコードをカラムに記入してください。

コード	工事の種類	コード	工事の種類	コード	工事の種類
010	土木一式工事	110	鋼構造物工事	220	電気通信工事
011	プレストレストコンクリート構造物工事	111	鋼橋上部工事	230	造園工事
020	建築一式工事	120	鉄筋工事	240	さく井工事
030	大工工事	130	舗装工事	250	建具工事
040	左官工事	140	しゅんせつ工事	260	水道施設工事
050	とび・土工・コンクリート工事	150	板金工事	270	消防施設工事
051	法面処理工事	160	ガラス工事	280	清掃施設工事
060	石工事	170	塗装工事	290	解体工事
070	屋根工事	180	防水工事		
080	電気工事	190	内装仕上工事		
090	管工事	200	機械器具設置工事		
100	タイル・れんが・ブロック工事	210	熱絶縁工事		

〔留意事項〕

- ① 「土木一式工事」を記入した場合は、その次の「業種コード」の欄に「プレストレストコンクリート構造物 工事(PC)」のコード「011」を記入し、「完成工事高」及び「元請完成工事高」の欄には「土木一式工事」の完成工事高のうち「プレストレストコンクリート構造物工事」に係るものを記入し、当該工事に係るものを記入し、当該工事に係る実績がない場合はカラムに「0」を記入してください。
- ② 同様に、「とび・土工・コンクリート工事」を記入した場合は、「業種コード」の欄に「法面処理工事(法面)」のコード「051」を記入し、完成工事高及び元請完成工事高を記入してください。
- ③ 「鋼構造物工事」を記入した場合も、「業種コード」の欄に「鋼橋上部工事」のコード「111」を記入し、完成工事高及び元請完成工事高を記入してください。

※「完成工事高」、「元請完成工事高」の欄は、項番31で記入した審査対象事業年度ごとに記入してください。ただし、3年平均を選択した場合は、完成工事高及び元請完成工事高は審査対象事業年度の直前2年の各審査対象事業年度の完成工事高の合計を2で除した数値を記入し、「計算表」に直前2年の審査対象事業年度ごとに完成工事高と元請完成工事高を記入してください。千円未満の端数は切り捨てとなります。

項番 **3 3**「その他工事」の欄 申請業種以外の完成工事高及び元請完成工事高を記入してください。

項番 **3 4**「合計」の欄 **3 2** 及び **3 3** に記入した完成工事高な欄日に元請完成工事高の合計を記入してください。千円未満の端数は切り捨てて記入してください。

※この表が複数枚になる場合は、「その他工事」及び「合計」は最後の用紙のみに記入してください。また、用紙ごとに、契約後VE(施工段階で施工方法等の技術提案を受け付ける方式)による縮減変更前の契約額で評価をする完成工事高の評価の特例の有無について該当するものに○印を記入してください。